

地域住民の願いは 既存校舎の建て替えだった

宇治小学校は校舎が老朽化し、耐震上からも「建て替え」が求められていました。大久保小学校の改築が終わり、次は宇治小学校だと誰もが考え、新しい校舎への「建て替え」が日程に上るようになり、期待が高まりました。

しかし、その答えは「小中一貫校」という形での「建て替え」でした。約千名規模の「小中一貫校」は、全国的にまだ試行段階ともいえるほど少数です。また、宇治市が手本にしている東京の品川区は、学校選択制をしており、宇治市とは条件が違います。

「つづいた中、なぜ小中一貫校なのか」「小学校としての建て替えを」など、疑問や反対の声は日に日に大きくなってきました。



9月23日に東宇治コミセンで開かれた「宇治小学校区地域懇談会」の様子

40人の参加で熱い論議 9月の「地域懇談会」

9月23日 祝(午後2時から東宇治コミセンで開かれた「宇治小「小中一貫校」を考える会」以下「考える会」主催「宇治小学校区地域懇談会」には約40名の保護者、地域住民、教職員が集まり、現在進行中の「仮」第一小中一貫校計画に反対する声が多く出されました。

まず主催者からこの1年の経過を報告。事の発端は昨年11月、市教委が「NEXUSプラン」を発表したことに

始まるが、1月はじめに市長が「貫校」について述べたのが出てくれば「…と発言したことに呼応するかのよう」に新しい宇治小学校づくり委員会(以下「委員会」)が1月25日、宇治市に要望書を提出。以来、事態は急展開を見せています。1年前、発足当初の要求だった「宇治小の早期建て替え」がいつの間にか小中一貫校建設に変質したのです。その後、宇治久世教職員組合を母体として「考える会」が作られ、3回の懇

談会を持ち、先行して実施している品川区の実態や、全国や京都市の状況なども含めてこの問題について学習を深めてきました。第1回2月29日、第2回7月4日、第3回8月30日)一方、市教委も宇治小保護者や教職員、市内育友会役員を対象に説明会を開催してきましたが、いずれも抽象的な説明で、様々な不安疑問に答えていません。

宇治小の教師からは資料をもとに宇治小の敷地面積は宇治市内の中学校で最も狭い横島中よりも狭いことを報告。横島中は2万3千㎡に対し30人の全校生徒。宇治小は2万1千㎡に対し810人の児童がいるが、平成24年時点では1097人。宇治市推計より算出)の「小中一貫校」となる予定。

その上、小学校、中学校それぞれの施設設備が必要となるため、子どもたちがのびのび活動するスペースがなくなります。

地域の皆さんからも「どう考えても今の敷地でクラブ活動するととなると無理」などの反対意見が多数寄せられており、「この計画を白紙に戻し、宇治小学校を建て替え、中学校を新たに建設する計画に変更すべきだ」という声を上げていくこと訴えました。

参加した保護者からは「経費削減の穴埋めは保護者がかぶる」といなる。グラウンドで部活ができなければその送迎は保護者負担、育成学級がなくなれば仕事を辞めざるをえない保護者も出てくる」「委員会」は地域の代表者の集まりだが現役の保護者は少数なため、保護者の意見が反映されて

いない「子どもがのびのびできる空間なんてない。保護者が声を上げていかなければ大変なことになる」などの意見が相次ぎ、「このことをもっと多くの保護者や地域の人に知らせ、みんなの声を集めて要望を上げていくこと」になりまし

署名活動スタート

地域住民の声を聞かずに、一方的に進められる「小中一貫校」の動きに、地域住民の不安は高まるばかりです。ましてや、宇治小学校の敷地面積は、宇治市で一番生徒数が少ない横島中学校約330名)よりも狭いという中で、本当に、児童生徒のための教育的な方針なのか、と疑わざるを得ません。

これから50年、100年の日本を見越して、教育に「そのお金をかけるべきなの」に、どうも、経済効率を優先にした計画に見えてしかたがありません。宇治小学校の児童が豊かな教育環境で6年間を過ごせるようにすること、できないものでしょうか。全国的には、それが当たり前で普通なのです。

私たちは、その普通のことを求めて、署名活動をスタートします。

要項事項

- ①宇治小学校の小中一貫校の計画を取りやめ、単独の小学校として建て替えてください。
- ②東宇治地域に中学校を新設して下さい。

「考える会」に寄せられた

地域住民・保護者の声

今の敷地ではムリ

▼9学年、千名規模の学校は、今の敷地では物理的に無理だと思ふ。1リットルのペットボトルに15リットルの水を入れることができないように。

▼どう考えても、現行の敷地内で小学生、中学生が共存するにはムリがあると素人でも思います。宇治小建て替えの当初の目的は、老朽化によるものと、耐震性の基準をクリアさせるためだったと思います。

▼宇治小を中学校と一緒にしたところで、木幡中、東宇治中のマンモス校解消にはつながるレベルにはならないです!!

市の財政も大切かもしれませんが、もっと大切なのは子どもたちの未来です!!

▼中学生は部活をのびのびとできることが大切です。宇治小を小中一緒にするのは良い結果が出ることは少ないと思います。宇治小学校の建て替えのみすることを要望します!!

精神的にものびのびできない

▼小学校一年生から見ると、中学生という存在は、やはり萎縮してしまふ存在だと思ふ。私自身がそうだったから。場所が狭くなつてのびのびできないだけでなく、精神的にものびのびできないということがある。小学校から中学校にあがり、環境が変わる時に、自分自身を大きく変えるチャンスがある

が、小学校の延長で中学生になるとそのチャンスがなくなる。経済以外にもメリットがあるなら、説明して欲しい。資源の乏しい我が国の財産は人であることを考えると、教育費は削るべきではない。

子どもを中心に

▼教育を受けるのは子供です。まず子供を中心に考えるべきで、経費削減のためならせつない反対です。本当に能力の有る、かっこいい子供を育てたいのなら、経費をおしまず、ましてや、小中一貫校ではさらにいいじめも多くなり子供のにげばがなくなり、勉強にも力が入らないでしょう。同じ敷地内なら、なおさら子供達もきゅつくと又、小学校でいじめられていた子供がそのまま同じ敷地内の中学校に入れば小学校のつづきでやられるでしょう。私の経験上、小学校とは別の所に中学校が有り入学したときはとてもうれしかった。小学校とは違った雰囲気、中学生になったんだ、コッシャーガンバルぞーと一喝入れたものです。いじめの子供も別のクラスになりホッとしました。小中一貫校なら雰囲気も変わらさず、やる気も減少するでしょう。いじめの子もそのまま上に上がるのだから恐怖を感じるでしょう。勉強にも力が入らないと思います。

▼大人の身勝手な考えでこれ以上子供達を苦しめないで下さい。もっともつ深く考えて、本当に子供達のためになるのかを話し合ってください。子供は国の宝です。宝物をダメにしないで下さいませ。

数々の問題点が...

▼我が家には中学生と小学生の子どもがいます。今回の小中一貫校建設について、数々の問題点があると思います。又、その問題点もきちんとクリアできていないまま強引に押し進められていく今の状況は理解できません。

問題点

①小学校生活のまま環境変わらず中学校に...となると「いじめ」られる子供にとっては辛い現状。実際にわが子と同級生の子で、小学校の時いじめの対象、クラスのほとんどから無視になっていた子供さんが、中学校に行き色々な友達が出来、今楽しく中学校生活を過ごされている。逆に、小学校時代友達もたくさんいて問題のなかった子が、不登校になられているケースもあります。

②どう考えても今の敷地でクラブ活動するとなると無理。小学校達の放課後の遊び場は!!中学生達が充分に部活するスペースは!!?答えがない。京都市内第2のマンモス校東宇治中学校、木幡中学校の生徒数の増加と、宇治小の老朽化、耐震性の問題とをここで区別して考えてもらわないといけない。もう遅いかも知れませんが、行政の出す解答は現実味がなく理解しにくい。

小学校の建て替えを

▼歴史ある宇治小学校を、耐震化された新しい校舎、体育館を建て直す計画に変更してもらいたいという考えに賛成です。同一敷地内で千人も増えるのは無理があり、運動場の使

用も限られてくるので、今の状態(生徒の人数)がしばらく続く間は無理に小中一貫で学校を減らすのは反対です。

▼少子化傾向で思いついた小中一貫の考え方もある意味判らぬでもないが、教師削減(利益追求)だけの考えとも思える。子どもたちはのびのびした場所であつたりした教育が望ましい。モラルも昔ほどなくなつた今こそ昔の寺子屋教育も必要と思う。その為小中一貫はいかなるのか。再考を願う。

▼なぜ、小学校だけの建て替えではないけないのでしょうか。もし、小中一貫校の試行(宇治市では)が失敗に終わり、宇治市の他校との間で「差」がついてしまつたという結果に終わつたとき、その時、どうするのでしょうか。

▼一貫校となると、発達のきわめて異なる子ども達が「同居」する訳ですから、その活動が十分に保障されるだけの、従来の小学校、中学校にない特徴的で、それなりの広さを持つた施設、設備を用意する必要があると思います。

宇治小においては、同一敷地内に建てられるということですから、土地を最大に効率的に生かしたものにすることはできません。このことには、大きな期待をします。それでも尚、あの敷地に1年生から9年生までの約千人が...と思うと、少し狭いのではないかと感じてしまいます。